女性の医師の割合は 1994→2024 年に 0.1270 から 0.2443 へ 14 回とも上がったが、30〜59 歳の世代を 10 年追うと割合は 0.0102 以内しか動かない——同じ年齢階級で 10 年比べた変化の平均（0.0559）は、世代を追った変化（0.0107）の 5.20 倍である [M090]

年齢階級の割合の 10 年の変化 ＝ 世代の入れ替わり ＋ 世代の中の変化 ── 分けるのは、同じ年齢で比べるか、同じ世代を追うか

山岸 勇輝（Yuuki YAMAGISHI）／ Independent Researcher

ORCID 0009-0006-8587-3450

2026 年 9 月 ／ CC BY 4.0

要旨

厚生労働省の医師・歯科医師・薬剤師統計（第14表・医師数の年次推移，年齢階級、性別・1994〜2024 年の 14 回）で、女性の医師の割合の上がり方を、同じ年齢階級で比べる見方と、10 歳上の年齢階級へ進んだ同じ世代を追う見方に分けて見た。新しい数学定理も新しい法則も主張しない。

第一に、表はそろっている。どの年も男 ＋ 女 ＝ 総数、6 つの年齢階級の和 ＝ 総数（年齢の不詳は 0 人）で、構成割合（%）は人数から計算した値と一致する（第3節）。

第二に、**医師は 1994 年の 230,519 人から 2024 年の 347,772 人へ 1.509 倍になり、女性は 2.903 倍、男性は 1.306 倍だった。女性の割合は 0.1270 から 0.2443 へ、14 回とも前の回より上がった。2024 年の女性の割合は 29 歳以下の 0.3687 から 70 歳以上の 0.0995 まで、若い年齢階級ほど高い**（第4節）。

第三に、ここが本稿の芯である。**10 年離れた 9 組の年で、同じ年齢階級の女性の割合の変化と、10 歳上の年齢階級へ進んだ同じ世代の変化を比べると、36 の組み合わせの平均の大きさ**

は、同じ年齢階級で 0.0559、世代を追って 0.0107 で、5.20 倍違う。30〜59 歳から始まる世代では、10 年追っても割合の変化は 0.0102 以内である（第5節）。

第四に、たとえば 1994 年に 30〜39 歳だった世代の女性の割合は、0.1336 → 2004 年 40〜49 歳 0.1358 → 2014 年 50〜59 歳 0.1416 → 2024 年 60〜69 歳 0.1420 とほとんど動かない。**同じ年齢階級の割合が上がったのは、女性の割合の高い若い世代が、低い世代と入れ替わって各年齢階級に入ってきた分として現れる**（第5節）。

第五に、例外が一つある。**29 歳以下から 30〜39 歳へ進む世代は、9 組すべてで女性の割合が下がる（−0.0490〜−0.0156）**。 なぜ下がるのかは、この表では分けられない（第5節）。

第六に、分けるのは**同じ年齢で比べるか、同じ世代を追うか**である。「女性の医師が増えた」は、同じ年齢階級の割合の上がりとして見ると大きく動いているが、同じ世代を追うと 30 歳を過ぎた世代ではほとんど動かず、動いているのは世代の入れ替わりである。

射程注記：本稿は新しい数学定理も新しい法則も主張しない——医師数は公開の表にあり、本稿は女性の割合を、同じ年齢階級と同じ世代の二つの向きで比べただけである。**本稿は公開の集計データの数の形を述べる構造的解釈であり、医学的な助言・診断・治療の推奨ではない。著者は医師ではない。個人の健康に関する判断は医師・医療機関に相談すること。査読を経ていないプレプリントである。 女性の医師が増えることの良し悪し、医師の働き方、医師の数や診療科の人手の過不足には立ち入らない。** 医師数は各年 12 月 31 日現在の人数で、10 歳幅の年齢階級を 10 年後に一つ上で追うのは、同じ生まれ年の人たちをおおむね追うことにあたるが、医師になった人・医師をやめた人・届け出の出入りがあるので、同じ人たちとは限らない。29 歳以下から 30〜39 歳へ進む世代で割合が下がる理由も、30 歳を過ぎた世代で割合がほとんど動かない理由も、この表では分けられない。個人・病院・都道府県は比べない。**データについて**：医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）は e-Stat から取り、政府標準利用規約（第2.0版）に従って使い、本稿の割合と差は、これを加工して作成した。本稿が加えたこと：**女性の医師の割合の 10 年の変化を、同じ年齢階級と同じ世代の二つの向きで並べ、同じ年齢階級の変化が世代を追った変化の 5.20 倍で、30 歳を過ぎた世代の割合は 10 年追ってもほとんど動かないことを示した**こと。

---

1. 記号と問い

- **女性の割合**：ある年齢階級の女性の医師数 ÷ 医師数。
- **同じ年齢階級の 10 年の変化**：年 t と t＋10 の、同じ年齢階級の女性の割合の差。
- **世代を追った 10 年の変化**：年 t のある年齢階級と、年 t＋10 の 10 歳上の年齢階級の女性の割合の差。

問い：女性の医師の割合が上がったのは、それぞれの世代の中で割合が上がったからか、割合の違う世代が入れ替わったからか。

観察 1.1：M003 は、ある年の平均余命が、違う世代の人たちのその年の死亡率を集めた写真であり、同じ人たちを追った値とは違うことを示した。本稿は、同じ「年ごとの断面か、世代を追うか」の分け方を、医師の数の表に当てる。

---

2. 下見と設計

正直に書く：設計は表を見てから決めた。

	内容
表	医師・歯科医師・薬剤師統計 令和6年 年次推移 第14表（医師数及び構成割合の年次推移，年齢階級、性別・1994〜2024 年の 14 回・10 歳幅の年齢階級）
下見で気づいたこと	年齢階級が 10 歳幅で、10 年離れた年の組が 9 組そろっていた。10 年後に一つ上の年齢階級を見れば、同じ生まれ年の人たちをおおむね追える
比べ方	全体の女性の割合、2024 年の年齢階級ごとの割合、10 年の変化を同じ年齢階級と同じ世代の二つの向きで（9 組 × 4 つの年齢階級 ＝ 36）

---

3. データと確かめ

計算 3.1 取得したファイル 1 本を SHA-256 で固定し、次を確かめた。

- 第14表は令和6年・各年 12 月 31 日現在・単位は人。年の列は 1994〜2024 年の 14 回。
- 人数と構成割合（%）の両方に、総数と 6 つの年齢階級と不詳 × 総数・男・女の行がある。
- どの年も男 ＋ 女 ＝ 総数、6 つの年齢階級の和 ＝ 総数（不詳は 0 人）。女性の構成割合は、人数から計算した値を小数 1 桁に丸めた値と一致する。

---

4. 医師の数と女性の割合

計算 4.1 医師の数と女性の割合

年	医師	男	女	女性の割合
1994	230,519	201,244	29,275	0.1270
2004	270,371	225,743	44,628	0.1651
2014	311,205	247,701	63,504	0.2041
2024	347,772	262,801	84,971	0.2443

観察 4.2：1994 → 2024 年に医師は 1.509 倍、女性は 2.903 倍、男性は 1.306 倍になった。女性の割合は 14 回とも前の回より上がった。

計算 4.3 2024 年の年齢階級ごとの女性の割合

年齢	29 歳以下	30〜39 歳	40〜49 歳	50〜59 歳	60〜69 歳	70 歳以上
女性の割合	0.3687	0.3208	0.3107	0.2342	0.1420	0.0995

観察 4.4：2024 年の女性の割合は、どの隣り合う二つの年齢階級でも、若いほうが高い。

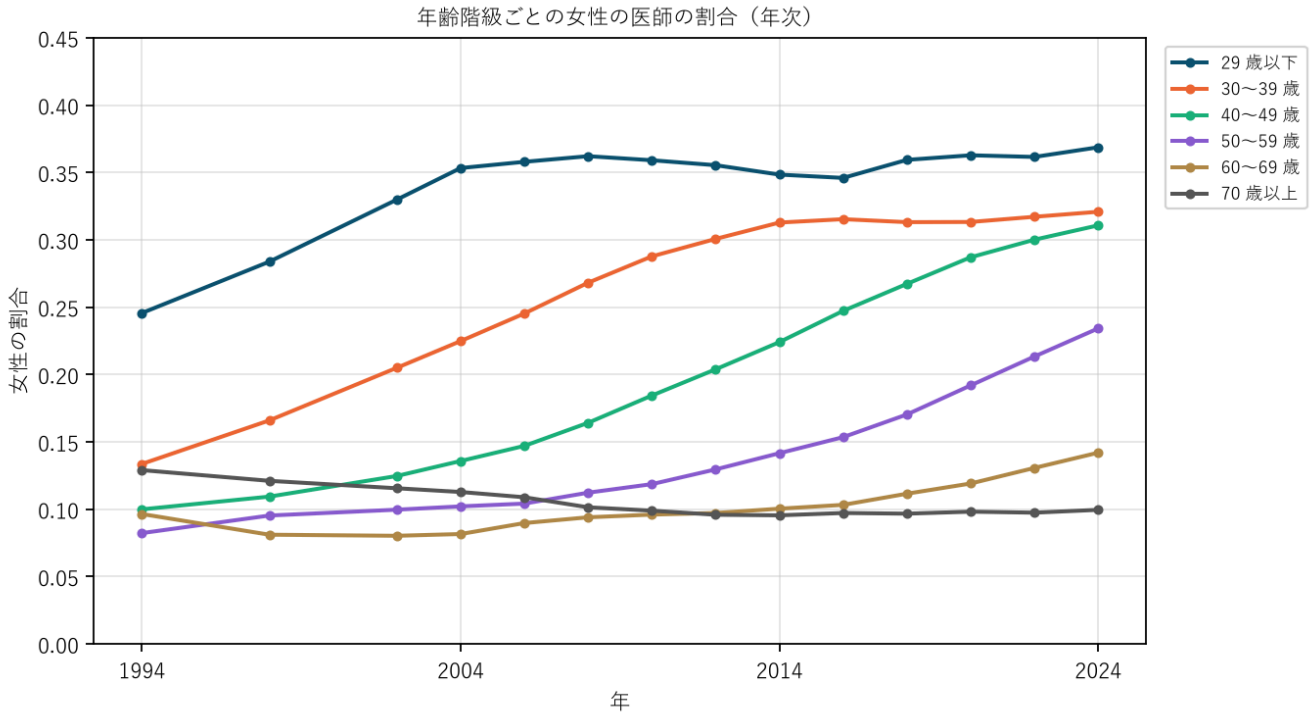


図1：年齢階級ごとの女性の医師の割合（1994〜2024 年）。

---

5. 芯——同じ年齢で比べるか、同じ世代を追うか

計算 5.1 10 年の変化（9 組の年）

始める年齢階級	世代を追った変化	同じ年齢階級の変化
29 歳以下	−0.0490〜−0.0156	−0.0120〜+0.1077
30〜39 歳	−0.0021〜+0.0022	+0.0080〜+0.1022
40〜49 歳	+0.0022〜+0.0102	+0.0359〜+0.1031
50〜59 歳	−0.0025〜+0.0011	+0.0170〜+0.0926
36 の平均の大きさ	0.0107	0.0559

観察 5.2：**36 の組み合わせの平均の大きさは、同じ年齢階級の変化が 0.0559、世代を追った変化が 0.0107 で、5.20 倍違う。30〜59 歳から始まる 27 の組み合わせでは、世代を追った変化は最大でも 0.0102 で、同じ年齢階級の変化の大きさの平均は 0.0649 である。**

計算 5.3 1994 年から 10 年ごとに追った世代の女性の割合

1994 年	2004 年	2014 年	2024 年
29 歳以下 0.2456	30〜39 歳 0.2248	40〜49 歳 0.2241	50〜59 歳 0.2342
30〜39 歳 0.1336	40〜49 歳 0.1358	50〜59 歳 0.1416	60〜69 歳 0.1420
40〜49 歳 0.0999	50〜59 歳 0.1021	60〜69 歳 0.1004	
50〜59 歳 0.0823	60〜69 歳 0.0816		

観察 5.4：**1994 年に 30〜39 歳だった世代は、30 年後の 60〜69 歳まで女性の割合が 0.1336〜0.1420 の中にある。** 同じ年齢階級の割合が上がったのは、女性の割合の高い若い世代が、割合の低い上の世代と入れ替わって各年齢階級に入ってきた分として現れる。

観察 5.5：29 歳以下から 30〜39 歳へ進む世代は、9 組すべてで女性の割合が下がる（**−0.0490〜−0.0156**）。 1994 年に 29 歳以下だった世代は 0.2456 から 0.2248 に下がり、その後は 0.2241・0.2342 とほとんど動かない。なぜ 30 歳前後で下がるのかは、この表では分けられない。

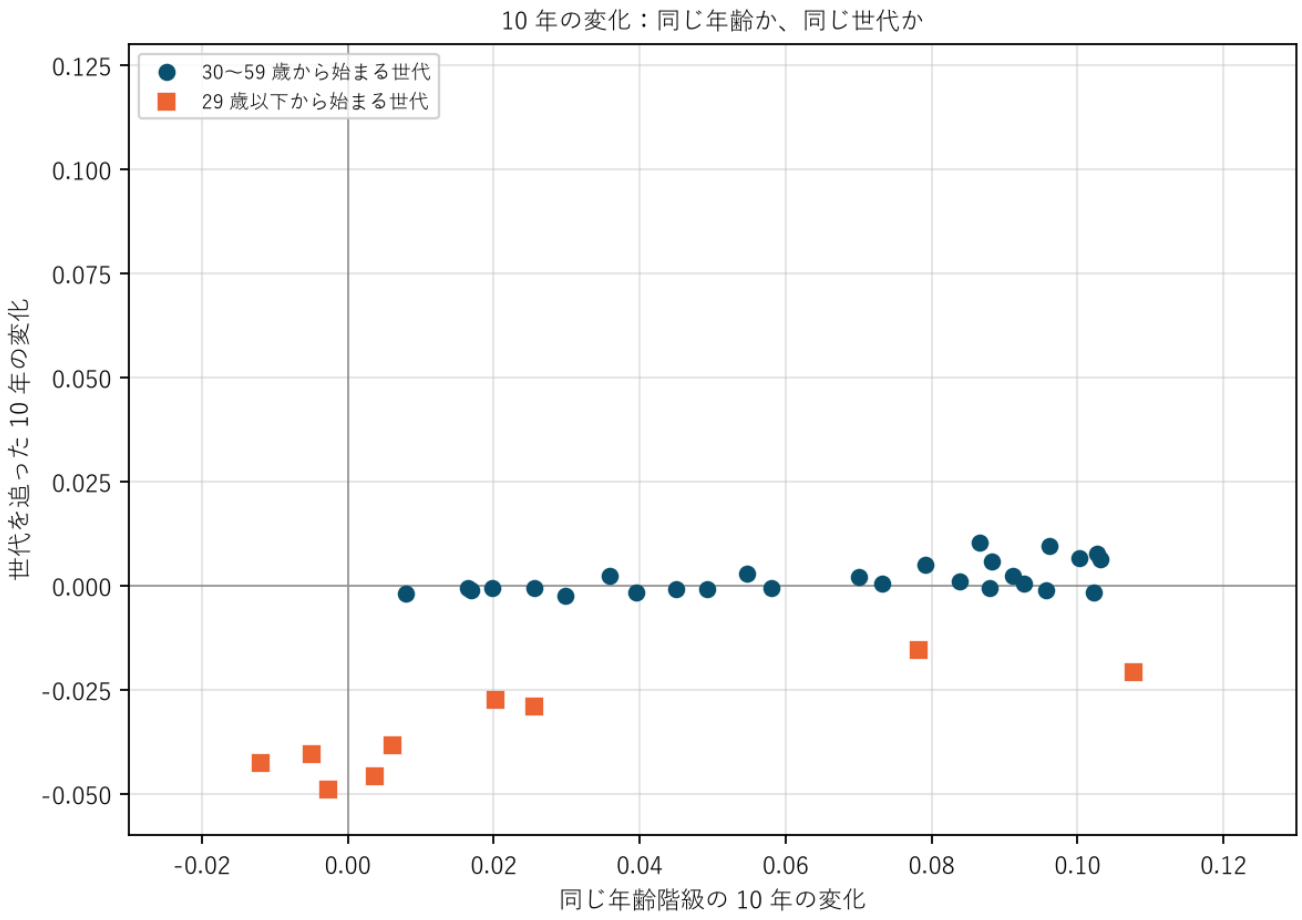


図2：10 年の変化の二つの向き。横が同じ年齢階級の変化、縦が世代を追った変化。紺が 30〜59 歳から始まる世代、橙が 29 歳以下から始まる世代。

---

6. 限界

1. **10 年後に一つ上の年齢階級を見るのは、同じ生まれ年の人たちをおおむね追うことにあたるが、同じ人たちとは限らない。** 医師になった人・医師をやめた人・届け出の出入りがある。

2. 29 歳以下から 30〜39 歳で割合が下がる理由も、30 歳を過ぎた世代で割合がほとんど動かない理由も、この表では分けられない。
3. 年齢階級は 10 歳幅で、70 歳以上は上が開いているので、60〜69 歳からは追っていない。1994〜2002 年は 4 年おきで、10 年の組は 9 組だけである。
4. 医師数は届け出の人数で、働いている時間や場所の違いは入っていない。
5. 女性の医師が増えることの良し悪し、医師の働き方や人数の過不足には立ち入らない。

結び

女性の医師の割合は 1994 年の 0.1270 から 2024 年の 0.2443 へ、14 回とも上がった。けれども 30〜59 歳の世代を 10 年追うと、割合は 0.0102 以内しか動かなかった。同じ年齢階級で 10 年比べた変化の平均（0.0559）は、世代を追った変化（0.0107）の 5.20 倍で、動いているのは世代の入れ替わりだった。

分けているものは一つ——同じ年齢で比べるか、同じ世代を追うか。

「女性の医師が増えた」と聞いたら、**同じ年齢で比べた話か、同じ世代を追った話かを、一緒に確かめる。**

データと再現

データ	医師・歯科医師・薬剤師統計 令和6年 年次推移 第14表（厚生労働省・e-Stat）（2026 年 9 月 26 日に取得）
利用条件	e-Stat は政府標準利用規約（第2.0版）に従う。本稿の割合と差は、これを加工して作成したもので、国が作成した数ではない
範囲	日本・医師・1994〜2024 年の 14 回（各年 12 月 31 日現在）・10 歳幅の年齢階級・性
検算	`検算/M090.py`（`--zu` で図も書く）。本文の数字はすべて `検算/M090_output.txt` から取った
生データ	`data/` に取得したファイルと `SOURCES.md`（URL・取得日・SHA-256・利用条件・定義と計算の置き方）
図	`図/M090_zu1`・`図/M090_zu2`（png・svg・英語版）

参考文献

- 厚生労働省. 医師・歯科医師・薬剤師統計 令和6年 年次推移 第14表. e-Stat（2026年9月26日に利用）. https://www.e-stat.go.jp/
- 山岸勇輝 (2026). 平均余命は、誰かが実際に生きる年数ではない [M003]. Zenodo. https://doi.org/10.5281/zenodo.22963485